



広報

こしがや

6月1日

昭和48年(1973) No. 449

編 集

越谷市役所企画部広報課

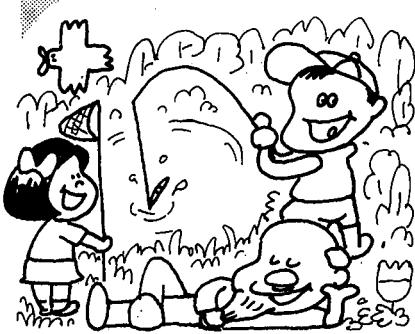
昭和32年8月5日第3種郵便物認可
毎月2回(1日、15日発行)



つゆの入り

じめじめと、うっとおしい日が続いています。6月は初夏から真夏への移りかわりの季節で、今がちょうど「つゆの時期」といってもよいでしょう。11日は暦の上での入梅ですが、気象庁の長期予報によると、ごとしは例年より一週間以上早い、つゆ入りとなり、明けるのも長びくだろうといわれています。

水と緑と太陽にめぐまれた
近代的住宅都市めざして



人間性向上と生活の エンジニアができる越谷市

週休二日制の時代を迎え、余暇時間の活用を、人間性のある豊かであるおいのあるものにするために、芸術文化への参加は一段と活発になることでしょう。そこで市ではみんなが芸術文化に参加できることを目標に、市独自の文化活動をすすめます。

文化活動の中心的な施設として市民文化会館の建設を促進し、余暇の健全な活用をはかります。

国は

市民の文化への意識を高め、うるおいのある生活の一助とするために、市民総合文化祭の充実をはかります。また音楽や演劇、美術、文学など芸術文化団体の拡大助成をはかり、市民の団体への加入を推進して、文化活動による健全な市民の育成をはかります。

下記久里のしし舞など、伝統的な文化財を重要な文化財として保護し保存します。

総合振興計画基本構想 19

たばこはこしがやで買いましょう

みなさんが市内のたばこ屋さんでたばこを買うと20本入りたばこ1箱につき約15円が税金となって越谷市に入ります。昭和47年度はこのたばこ消費税が2億2,900万円にもなり、これは6m巾の道路を約10km舗装する費用と同じくらいになります。たばこはぜひこしがや市内で買いましょう。



大川戸の陣屋御殿

の控によると、構内総坪六町一反りあがつた。
七畳一歩(約6ヘクタール)、屋敷の周囲には幅二〇間と一三間の堀をめぐらし、その内側をやぶ敷の築山によつてとりかこんだ堅固なとりでの構えであった。

筆をとつたためた坪割書を、

このため軍事的な役目を失なつ

絵図

(写真は大川戸陣屋御殿の構内

関東代官頭伊奈熊藏忠次に示して陣屋御殿の構築を命じた。

当時関東八州のうちには、房州に里見氏、常陸に佐竹氏、下野に那須氏、上野に佐野氏等が割拠し天下の形勢によつては、これら諸大名がいつ江戸に侵攻するかわからぬ状況であった。

家康はこのため江戸防衛の拠点として、交通路の要衝などには多くの御殿を設置していた。大川戸の陣屋御殿も、石田方との戦に備えたものの一つであったと見られる。

しかし関ヶ原の一戦で勝利した家康は、事实上天下を掌握することになり、統いて慶長八年(一六〇三年)には、征夷大将軍として名実共に天下を統率する地位にな

したがつて軍事的な目的で設けられた御殿は、江戸防衛の基地と下賜されることになった。

奈忠次の配下杉浦五郎右衛門定政しての意味が薄らぎ、その後はもっぱら民政巡察のための家康の旅館に用いられるようになった。

た大川戸の陣屋御殿は、その後政の構内

慶長五年(一六〇〇年)七月、徳川家康は、奥州会津の城主上杉景勝討伐のため、川口・鳩ヶ谷・大道を奥州路に抜け、野州小山に出陣した。

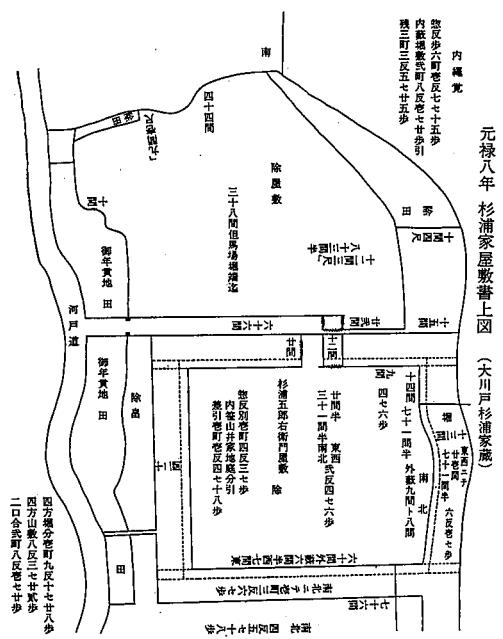
この折、関西の石田三成挙兵の報をうけ、家康は急ぎよ江戸城に引返すことになった。途中栗橋の舟橋が大雨のため流失しており、乙女岸から利根川筋(古利根川)を船で葛西に下ったが、その途に下總国大川戸(現在の埼玉県北葛飾郡松伏町)に立寄り、休息をとどめた。

家康は、この大川戸の地形が軍事的に重要な地点と見なし、自らが、検地役人に提出した屋敷絵図

式拾間 つほねとあやいた
拾式間 家 五間 とほり道
十 五 といしき
伊奈忠次は、この家康の坪割書にしたがい、早速近郷の農民達を動員して陣屋御殿を建設した。

この御殿の規模構造は、元禄八年(一六九五年)の幕府領総検地の陣屋御殿も、石田方との戦に備えたものの一つであったと見られる。

しかし関ヶ原の一戦で勝利した家康は、事实上天下を掌握することになり、統いて慶長八年(一六〇三年)には、征夷大将軍として名実共に天下を統率する地位にな



市史編さん室

商工業の発展のために

商工課

市役所のしごと (8)

市内の商業・工業をさかんにするため、しごとをしているのが商工課です。

わたしたちのまちも毎年人口がふえるとともに、大きな商店ができ、店には新しい商品が数多く出まわっています。この数多い商品の中でも、その品質や安全性など正しい買物ができる、かしこい消費者についていただくため、市民のみな

さんに商品についての正しい知識を知つてもらつたり、商品の重さを正しく計るために、はかりの検査も行なっています。

工場や店舗を広くしたり、新しく建てたりするのにかかる、お金の貸しつけや、どうしたら店や工場のしごとをうまくやつていけるなどの相談をうけたり、方法を教えたりして、越谷市の商工業が発展するようになります。そのほか年に一度、市内の工場や商業者の製品を一か所に集め、どんなも

のが、わたしたちのまちでつくりられているかを市民のみなさんによつてもらう、商工物産展を開いています。



図書かんだよけ

(新刊案内)

低学年むき

○こぐまたろの絵本 きたむらえり ○わっこおばちゃんのおと2のえほん さとしわきこ ○つとむくんのかばみがき 松谷みよこ ○おにのあかべえ 寺村輝夫 ○みやらびのしま 大川悦生 ○りんごころりん パホーモフ ○はるるどのふしきなぼうけん ジョンソン ○雲のさぶろう 神沢利子

中・高学年むき

○フルートと子ねこちゃん 今江祥智 ○トーキョー夢の島 早船ちよ ○天竜川のかがり火 平沢清人 ○おれたちの夢 香川茂文 ○夕焼けの記憶 大野允子 ○太平洋のかけはし 羽生操 ○スマッギの季節 ならしまとしお ○チョコレート工場の秘密 ダール ○夜中出あらぐものたち メイスフィールド

いようです。

有効に使った時間、むだにすごした時間、いろいろあると思いますが、この日をきかに、もう一度、毎日の二十四時間を、どうすごしているのか考えてみましょう。

そして、これからも時間を大切にしていきましょう。

十日は「時の記念日」です。今から約千三百年前、天智天皇がはじめて水時計をつくり時を知らせたということを記念して、大正九年にもうけられました。

みなさんは、「お友だちと

の約束時間が守れなかつた。授業におくれてしまつた。」などと、おもいあたることはありますか。



「時の記念日」



<作文>

畑仕事

桜井小五年 井上典子



わたしは、いつも畠仕事を手つだっています。それは畠仕事が大きだし、あたたか一日など、あせをかきかき手をまつ黒にして、やさいなどをほることがたのしいからです。

「農家の子はいやだなあー」といふづく思います。

ただ勉強をやっている時に

「典子。いそがしくて困るの

で、ちょっと手伝って…」

といわれたりすると

「農家の子はいやだなあー」

特に、草ぬきやまめうえが

終わったときは、

「仕事がひとつかたづいた

しなくてはなりません。はた

ぞ」

けの間をぬって飛んでいる、

もんじろちょうの小さい羽音

を耳にしながら、

母と帰る時は、まっ暗にな

ります。

と大きく深呼吸すると、口の

中いっぱいになんともいえな

い土のにおいが広がって、仕

事をどんどんやりたい気持ち

になります。

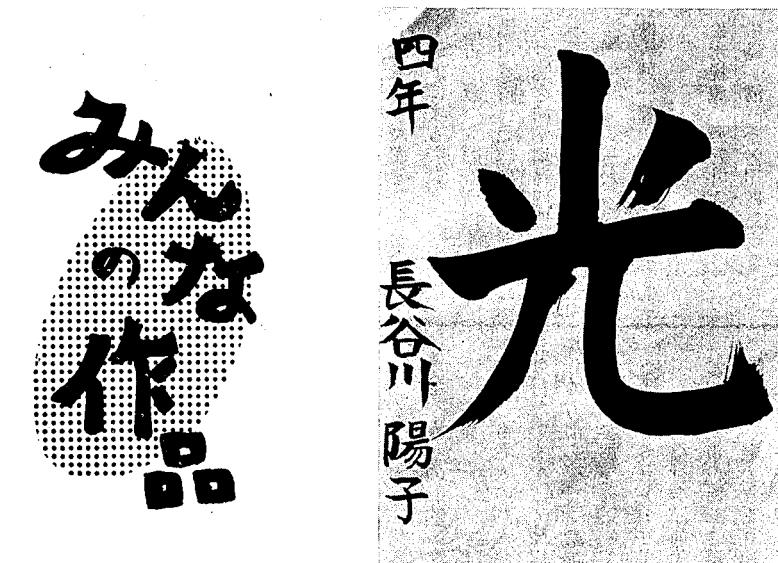
おなかがすいて、そのあと

夕食はとてもおいしいです



ぼくのおかあさん
桜井小四年 長谷川陽子 ↓

桜井小三年 田中ひさし ←



家の近くの風景

桜井小二年 大久保祐里子 ←



[第17回問題] 每年6月10日を「○の記念日」といいます。

☆応募のしかた☆

- の中にあてはまる字だけを書いて、かならずハガキでお答えください。
- 住所、名前、学年、学校名をはっきり書いてください。
- しめ切りは、6月15日消印のものまでとします。
- 送り先は、越谷市越ヶ谷4丁目2番1号郵便番号343 越谷市役所内広報課こどもクイズ係まで。
- 正解者10名のみなさんに賞品をおくります。正解者多数の場合は抽せんです。
- 応募のできる人は、市内の小学校、中学校に通学しているみなさんです。
- 当選者発表は7月15日号広報こしがや子どものページに掲載します。



